

エンゼルでの症状観察

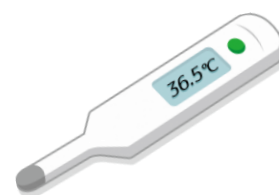
エンゼル川崎
エンゼル中原
エンゼル宮前
エンゼル麻生

こどもは具合の悪さや症状を言葉で十分伝えることができません。エンゼルでは受け入れ時や保育中に保育士や看護師がお子さんをよく観察し、症状を把握するよう努めています。

検温も時間を決めて行い、気になることや変化がある時には嘱託医に伝え回診で診てもらいます。

＜症状観察・検温のタイミング＞ ※施設により時間が異なることがあります

8:00	登園	病状聞き取り	検温	症状の観察
9:30	午前中	検温	症状の観察	
13:00	回診	嘱託医による診察		
14:30	午睡明け	検温	症状の観察	
16:30	夕方	検温	症状の観察	



＜症状観察のポイント＞

【顔・表情】

- ・顔色が悪い・悪寒がある・ぼんやりしている
- ・目の動きに元気がない

【胸】

- ・呼吸が苦しそう・咳、喘鳴がある・咳で吐く

【お腹】

- ・張っている・股の付け根が腫れている

【目】

- ・目やにがある・目が赤い・まぶたが腫れぼったい・まぶしがる
- ・涙目である

【鼻】

- ・鼻水、鼻づまりがある・くしゃみがある・息づかいが荒い

【口】

- ・唇の色が悪い・唇、口の中に痛みがある・舌が赤い

【のど】

- ・痛がる・声がかれている・咳がでる

【皮膚】

- ・手足が冷たい・赤く腫れている・ポツポツと湿疹がある
- ・カサカサしている・水泡、化膿、出血がある・あざがある

＜お熱が高い時には＞

- ・検温の結果、熱が高い時には保冷剤でお子さんの体を冷やすことがあります。首の後ろや脇、太ももの付け根など、太い血管が通っている場所の近くを冷やすのが効果的です。
- ・寒気がなく、熱が上がりきって体が火照っているのを確認します。
- ・お子さんが“冷たくて気持ちが良い”と感じられる程度にとどめ、嫌がる時には外します。
- ・エンゼルでは子供用靴下とゴムで保冷剤入れを作り、腕に通して使っています。動きを妨げず、効果的に冷やすことができます。



※食欲、睡眠、排泄（尿、便）、機嫌など、入室前の様子は保護者の方から伺います。

※帰宅後の夜間や翌朝の体温も大切な情報です。連続利用の場合は計測をお願いします。

※必要に応じて呼吸数、心拍数、血中酸素飽和度などを測定することがあります。